

事業所名	カラフル・金沢もりの里校				支援プログラム	作成日	2026年	2月	2日	
法人(事業所)理念	利用児童が日常生活能力向上における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活及び社会生活に適応することができるよう、利用児童の身体及び精神の状況並びにの置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導訓練を行うことを目的とする。									
支援方針	利用される方お一人お一人を尊重する精神を貫き、利用される方が心身ともに健やかに生活され、また、その能力と特性に応じて利用される方お一人お一人の目指す日常生活、た、社会生活を営むことのできるよう支援します。そのために支援の多様化を図り、より深い支援内容によるサービスの提供をおこないます。									
営業時間	平日	9時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	行きあり	帰りなし		
	学休日	9時	00分	17時	00分					
支援内容										
本人支援	健康・生活	子どもたちが健康的な生活習慣を確立し、安全・安心な環境で過ごせるように支援します。 【活動・支援内容】 ・基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や更衣、物の管理、手洗い、食事マナー、排泄等ができるようにします。 ・時間や空間がお子さんにわかりやすいように視覚支援等により環境を整えます。 ・継続的に体を動かすことで、体力の向上を図ります。 ・理解や特性に合わせた宿題等の支援を行います。 ・施設利用の際の約束・決まり、挨拶、着替えの際の注意事項等を適宜伝え、定着していけるようにサポートします。 ・車の安全な乗り方や乗るマナー、姿勢、ルールを身に付けます。								
	運動・感覚	運動を通じて基礎体力や身体の使い方を学び、感覚統合を促進します。 【活動・支援内容】 ・さまざまな運動プログラムや遊びを通して、本人が適度な運動動作を身に付けていけるようにします。 ・お子さまの運動機能や感覚の感じ方敏感・鈍感に合わせて、課題を設定します。 ・継続的に体を動かすことで運動機能の向上を図ります。 ・力や声の大きさ、疲れなどの調整を促します。 ・さまざまな感覚統合を行うための運動や遊びを専門職が計画します。 ・好ましい姿勢や道具の扱い方を身に付けます。								
	認知・行動	考える力や適切な行動を促し、自己コントロール能力を育てます。 【活動・支援内容】 ・本人のやる気に寄り添い、課題に取り組む中で、できたことを都度確認し、褒めたり、励ましたりし、本人が自信をつけていけるように支援します。 ・空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげます。 ・自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促します。 ・自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行います。 ・集団プログラムで、一斉の指示を聞きながら様々な年齢の児童や職員との関わりをサポートします。								
	言語コミュニケーション	伝える力・聞く力を伸ばし、円滑なコミュニケーションを促します。 【活動・支援内容】 ・社会性やコミュニケーションスキルを身につけていけるよう他の児童との仲立ちや、具体的な適切なやりとりの提示等、必要に応じサポートします。 ・自分の思いや要求の相手への伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促します。 ・理解や特性に合わせた宿題等の支援を行います。 ・言葉でコミュニケーションが取れるようサポートします。 ・非言語(身振り、指さし、サイン、ジェスチャー)や言語(2語文、3語文など)でコミュニケーションが取れるようにサポートします。 ・自己紹介や振り返りでの人前の発表、プログラムにおける場面設定、プログラム前の他児童との関わり中で声かけやロールプレイングを提示します。								
	人間関係社会性	集団生活の中で対人スキルを学び、社会に適応できる力を育てます。 【活動・支援内容】 ・役割やルールのある協同・運動プログラムに取り組み、友達とのやりとりや関わりを通して、適切な人間関係の形成を促します。 ・日常の活動や遊びの中でCSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ、あいさつや順番を待つ、気持ちを言葉で伝えるなど、集団生活に必要な社会性を具体的に学べるよう支援します。 ・他者の気持ちや意図を理解し、場面に応じた行動を選択できるよう、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 ・勝敗のある運動プログラムや友達とのやりとり・交渉を通して、事前予告による見通しづくりや気持ちのコントロールを促し、行動を認めて褒めることで自尊心を高め、情緒の安定につなげます。								
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの発達状況を相互に理解し合えるよう、保護者のお迎え時に情報交換を実施します。 ・お子さんの特性を踏まえた関わり方などについて相談援助を行います。 ・ご家族からお子さんのご家庭での様子や心配などについてお話を伺い、環境づくりや関わり方の工夫をともに考え実行します。 ・プログラム内容の意図や成果について保護者と共通理解し、事業所、ご家庭と共同してお子様へのサポートや声かけをしていきます。 ・保護者、ご家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施します。 ・ご家族(きょうだいを含む)で参加できる行事を実施します。 ・家族会・保護者向けの研修会を実施します。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・相談支援専門員を介し各関係機関と連携し、支援経過、支援方法等に関する情報共有します。 ・習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように、本人の発達段階や障害特性の共通理解を図り、保護者、相談支援専門員、各関係機関との連携を図ります。 ・園から小学校等への移行をスムーズに行えるよう、本人へのサポートを保護者と連携しながら行います。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童発達支援センターと連携し、専門的な知識や支援方法に関する情報交換を行います。児童発達支援センターによる研修を受講し、職員の専門性向上に努めます。 ・災害発生時においては、お子様の安全を確保し、可能な限りサービスを継続できるよう、事業継続計画(BCP)の策定と見直しを定期的に行い、災害時には、地域の拠点となりうるよう、地域貢献に努めます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施します。 【社内研修】・Well-being研修・チームビルディング研修・発達特性について・リーダー研修・PDCA研修・新入社員研修会 【義務化研修】・虐待防止(身体拘束)に関する研修・感染症に関する研修・BCPIに関する研修等 【社外研修】・児童発達管理責任者(基礎研修、実践研修、更新研修)・発育発達の段階とつながり・虐待防止研修 ※適宜受講します。 			
主な行事等	年間を通じて、子どもたちが楽しみながら成長できるイベントを計画し、思い出に残る経験を提供します。 (以下実績) ・外出プログラム(お店で注文しよう、プラネタリウム、博物館、工場見学A型事業所見学、他) ・季節に関するプログラム(初詣、餅つき、花見散歩、夏祭り、ハロウィンイベント、クリスマス会) ・工作に関するプログラム(木工体験、センサリーボトル、紙粘土、折り紙教室、秘密基地作り、クリスマスリース作り、他) ・生活に関するイベント(パン、たこ焼き、おにぎり、かき氷、他クッキング) ・得意を発表するイベント(おともだちが先生！ ローストビーフ作り、おともだちが先生！ アクセサリー作り) ・運動に関するイベント(運動会) ・防災に関するイベント(防災訓練、防災教室)									